

令和8年度第1回青森市廃棄物減量等推進審議会

会議概要

1 日時

令和8年9月25日（木） 10時00分～10時30分

2 場所

青森市福祉増進センター（しあわせプラザ） 3階 中会議室

3 出席者

【委員】

佐々木委員（会長）、青山委員、一戸委員、鈴木委員、竹中委員、西田委員、
三津谷委員（森委員が欠席し、8名中7名出席）

【事務局】

環境部 中村部長、武田次長

廃棄物・リサイクル課 阿部課長、小関場長、日渡主幹、齋藤主幹、平井主査、
加藤主事

浪岡振興部市民課 熊谷課長

4 会議の公開、非公開の別

「青森市附属機関の設置及び運営に関する指針」に基づき、会議は原則として公開することとしており、当審議会においても公開とした。

5 会議内容

（1）令和8年度第1回審議会

①開会

②諮問「し尿収集運搬料金基準額の改定について」

環境部長から会長に諮問書の手交を行った。

③審議「し尿収集運搬料金基準額改定に係る諮問内容説明」

配付資料「資料1：し尿処理における収集運搬料金基準額の見直しについて」、「資料2：関係法令」を事務局から説明を行い、委員から意見・質問等をいただいた。

④閉会

6 会議要旨

① し尿収集運搬料金基準額改定に係る諮問内容説明

(委員)

○資料1の4ページ右上の表に記載されている最低賃金の上昇率について確認したい。今回の前回比20.6%は、令和5年の前回改定時との比較であり、前回の前々回比41%は、資料3ページに記載されている令和元年との比較という理解でよいのか。

(事務局)

○今回の前回比20.6%については、前回見直しを行った令和5年4月1日時点との比較である。一方、前回の前々回比41%については、資料3ページの表で網掛けしている、物価上昇を理由として改定した時点との比較であり、具体的には平成15年6月1日時点との比較となっている。

(委員)

○令和5年と平成15年の比較ということで理解した。令和元年との比較にしては上昇率が高いと感じたため確認した。

(委員)

○資料5ページの原価計算表に記載されている、1か月当たりのし尿収集量について確認したい。

人件費や車両費、燃料費などの経費は、物価高騰等に伴い増加するものと考えられるが、原価計算においては、経費だけでなく、収集量をどのように設定するかによっても、算出される単価が変わってくる。

仮に、全ての許可車両が稼働することを前提として収集量を設定した場合、算出される単価が低くなることも考えられる。また、実際には車両の故障や車検等により使用できない期間が生じるため、予備車両の確保なども必要となる。

そのため、次回原価計算に当たっては、こうした点にも留意し、収集量の算定方法について検討していただきたい。

(事務局)

○次回の審議会では、最新の原価計算を踏まえた料金基準額をお示しする予定であり、その際には、今回ご指摘いただいた事項も含めて検討していきたい。

(委員)

○資料4ページに記載されている収集人口の推移について、水洗化の進展によって収集人口が減少しているとの説明があった。

今後の水洗化の計画や、それに伴う収集人口の減少見込みなどは示されているのか。また、水洗化とは、具体的に水洗設備が増えることを指しているのか確認したい。

(事務局)

○水洗化には、下水道の普及によるもののほか、住宅の建て替えなどに伴い、合併処理浄化槽へ切り替わる場合など、さまざまな形態がある。

現時点では、それぞれの水洗化の進展状況や今後の見込みに関する詳細な数値は持ち合わせていないが、こうした水洗化への切り替えに加え、市全体の人口減少も進んでいることから、し尿収集の対象となる人口が減少している状況にある。

(委員)

○説明について理解した。